

ビール粕を活用した黒大豆の連作障害対策の検討

アグリドリームSETO

取組内容

キリンビール岡山工場から出るビール粕を堆肥の代わりとして活用し、黒大豆栽培で問題になっている長年の栽培による収量低下を解決できるか、検討する。

黒大豆圃場でビール粕を10aあたり3t施用区、1t施用区、無施用区を設置し生育収量調査する。

成果

ビール粕を施用する事で、黒大豆の初期生育が旺盛となり収量が増加するなど連作障害対策に活用出来ると考えられ、化成肥料とビール粕を組み合わせたバランスの良い施肥が効果的であると考えられた。

地域の有益な資源であるビール粕を活用した、地域の特色ある農産物ブランドの育成の可能性を引き出すことができた。

